



京都ハウジング株式会社 SDGs宣言

当社は、「信頼・信用第一に不動産賃貸・販売を通じて、誠心誠意対応する」という経営方針のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年12月12日

京都ハウジング株式会社

代表取締役 鈴木 一雄



重点項目(ターゲット2030)

信頼される不動産の提供

信頼・信用を第一に不動産情報の透明化に努め、誠実な不動産取引を実施しています。これからも、お客さまが希望する不動産に出会えるよう誠心誠意サポートしていきます。

【主な取り組み】

HPへの不動産の正確な情報掲載、情報管理の徹底、コンプライアンスの徹底、公正な取引の遵守



環境への配慮

賃貸物件への省エネ設備の導入や保有遊休土地への太陽光パネル設置による創エネ、そして分譲地への植樹などに取り組み、環境に配慮した事業活動を実施していきます。

【主な取り組み】

照明のLED化、保有遊休土地への太陽光パネル設置、PHV自動車の導入、分譲地への植樹、賃貸物件への各種省エネ設備導入



人材育成、働きやすい職場づくり

すべての従業員が自己研鑽できる職場環境を整備し、従業員の成長をサポートしていきます。また、従業員の心身の健康に配慮し、従業員の声を大切にした働きやすい職場づくりを目指します。

【主な取り組み】

多様な人材の採用、各種福利厚生の充実、適材適所の人材配置、現場の要望を考慮した職場改善への取り組み、資格取得支援、OJTの実施



地域活性化への貢献

地域とのつながりを大切にし、地元の歴史・文化の発信や、地域行事への積極参加を通じて地域活性化に貢献します。これからも三方良しの精神をモットーに地域から必要とされる企業を目指します。

【主な取り組み】

地元の歴史・文化の発信拠点である「京極庵」の運営、ステークホルダーとの連携、清掃活動・地域行事への積極参加、地域行事への自社保有物件の提供



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。